

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

## 研究協力をお願い

昭和大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

薬局勤務の薬剤師を対象としたアナフィラキシーに関する知識及びエピペン®調剤時の指導についての実態調査

### 1. 研究の対象および研究対象期間

対象：薬局勤務の薬剤師でエピペン®処方経験がある者（300名）

期間：アンケート配布・回答期間 2020年10月20日から2020年11月30日まで

### 2. 研究目的・方法

アナフィラキシーは外来物質の侵入により生じる急激な生体反応であり、皮膚や粘膜、呼吸器、循環器など多臓器に障害を来す重篤な病態であり、ときにショックに至り生命を脅かすことがあります。医療機関外で偶発的に生じる再発時には、重症化を防ぐためにプレホスピタルケアとしてエピペン®を速やかに自己注射することが重要です。同病態は全ての医療従事者が遭遇する可能性があり、救急対応を要する病態です。その知識や治療・対処法は医師だけでなく医師以外のメディカルスタッフにも普及していることが望まれます。特に薬剤師においては、アナフィラキシーの病態だけではなくエピペン®についての薬効、その他併用禁忌薬剤や投与方法など薬剤に関する専門的知識を有する必要があります。また、患者及び患者家族が緊急時に適切に使用できるように患者が理解するように指導することが重要です。今回、我々は薬剤師がアナフィラキシーやどの程度理解し、患者に対してエピペン®の使用・保管方法をどのように指導しているのか調査します。

インターネットを介したWEBアンケートの形式で上記期間内に配布・結果の回収を行い、そのデータについて統計解析を行います。なおWEBアンケートの実施は外部の調査会社ネグジット総研のシステムで同社の登録会員のみを対象に行います。

### 研究期間

「医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、昭和大学医学研究科長の研究実施許可を得てから2021年8月31日まで

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

WEBアンケートの回答結果（個人情報秘匿・記号化され、回答者は特定されません）

### 4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科部門 氏名：木村友之

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8532

研究責任者：鈴木 慎太郎（昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科部門 講師）